横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

横須賀市健康増進計画・
食育推進計画専門部会　資料 2
平成28年(2016年) 8 月 4 日（木）

取り組みの分野:がん

1） 2） 3） 4） 5）	がんと生活習慣病予防との関係性の周知（●） がん検診の必要性の周知（●） がん予防啓発のための講座等の実施（●） 胸部、大腸、子宮、乳がん、前立腺がん検診の受診者数を増やす取り組み（●） 胃がんリスク検診要精検受診率の向上（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ② ③ ④ ⑤	市民健診事業 特定健康診査事業 健康教育事業	・広報等での啓発や市民健診結果説明会の有効活用 ・健康教室の実施 ・講演会の実施 ・ポスター作成やパンフレットの配布 ・精密検査未受診者へのアンケート調査 ・精密検査受診者へのパンフレットの配布（集団検診）	保健所 健康づくり課

27年度計画	・「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン」のポスターを作成（11月予定）し、市の掲示　　板などに掲示する。 ・市民健診の講演会を開催する。 ・胃がんリスク、乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診の精密検査未受診者へのアンケート調査を実施する。 ・乳がん、子宮頸がん検診のクーポン発行未受診者に再度無料クーポン券を配布する。 ・集団健診の胃がんリスク検診受診者に、胃がん発生リスクに関するちらしを結果通知に同封する。 ・ホームページ・スカリブに市民健診の案内を載せる。
実績と評価	・「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン」のポスターを作成し、医療機関・コミュニティセンター・行政センター・老人福祉センター等に10月に約400枚掲示した。 ・11月28日（土）に胃がんリスク検診市民講演会を開催し、49名の参加があった。 ・胃がんリスク・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診の精密検査未受診者へ、受診勧奨とともに未受診理由の調査を実施した。 ・乳がん、子宮頸がん検診のクーポン発行未受診者17,996名に再度無料クーポン券を配布した。 ・集団健診の胃がんリスク検診受診者に、胃がん発生リスクに関するちらしを結果通知に同封した。 ・ホームページ・スカリブに市民健診の案内を載せた。
28年度計画	・「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン」のポスターを作成（10月予定）し、市の掲示板などに掲示する。 ・市民健診の講演会を開催する。 ・胃がんリスク、乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診の精密検査未受診者へのアンケート調査を実施する。 ・40歳女性に乳がん検診、20歳女性に子宮頸がん検診の無料クーポン券を配布する。 ・集団健診の胃がんリスク検診受診者に、胃がん発生リスクに関するちらしを結果通知に同封する。 ・ホームページ・スカリブに市民健診の案内を載せる。

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野：循環器疾患・糖尿病

１） ２） ３） ４） ５）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●） 生活習慣病（脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧、脂質異常症、糖尿病）、メタボリックシンドローム予防に関する知識の普及（●） 生活習慣病予防と改善のための食事や運動の講座等の実施（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ③ ⑤ ⑦ ⑧	市民健診事業 特定健康診査事業 （国保・社保） 健康づくり推進事業 健康教育事業	・各健康診査の実施 ・市のホームページ等に医療機関情報（日曜診療等）掲載 ・集団健診の休日健診の開催回数の増加 ・広報よこすかに啓発記事の掲載 ・地域からの依頼による健康教育等の実施 ・イベントでの広報活動 ・生活保護等の特定保健指導の実施 ・市民健診結果説明会の有効活用 ・各種健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・各種健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施	保健所 健康づくり課

27年度計画	・集団健診は5月～翌年の３月１１日まで実施する。個別健診は5月～翌年2月まで実施する。 ・日曜日に健診を実施している医療機関をホームページにに掲載する。 ・集団健診の休日健診を日曜日に7回・土曜日に3回実施する。 ・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載する。 ・集団健診の結果説明会を年23回開催する。 ・国保の特定保健指導（動機付け・積極的）の対象者（希望者）に特定保健指導を実施する。 ・引き続き、スマートダイエット教室、病態別栄養教室、健康相談を実施。 ・階段利用促進のポスターを作成し、市関係機関及び企業等に配布する。
実績と評価	・スマートダイエットは講演会を2回開催し216名が参加、教室は2コース（夜間コース・午後コース）開催し、参加者は38名（のべ433名）が参加した。教室参加者は体重が平均6kg、腹囲は平均8.5cm減少した。講演会の参加者は昨年度より増え、また教室でもより高い成果が得られた。 ・健康相談の中の「健康アップ相談」は保健所の医師・管理栄養士・保健師それぞれからアドバイスを受けられるものであるが、例年参加者が少ない。27年度はポスターやチラシを工夫して作成したところ、申込者が増えたので、今後引き続き周知方法を工夫し、より多くの人が相談が受けられるようにしていきたい。 ・階段利用ポスターはＡ３を1,500枚、Ａ４を500枚作成し、市関係施設、駅等に掲示を依頼した他、職域では商工会議所での配架を依頼した。
28年度計画	・集団健診は5月～翌年の３月16日まで実施する。個別健診は5月～翌年2月まで実施する。 ・日曜日に健診を実施している医療機関をホームページに掲載する。 ・集団健診の休日健診を日曜日に7回・土曜日に3回実施する。 ・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載する。 ・集団健診の結果説明会を年23回開催する。 ・国保の特定保健指導（動機付け・積極的）の対象者（希望者）に特定保健指導を実施する。 ・スマートダイエットは昼間のコースの参加者が少なくなっているため、28年度は昼間のコースを午前中の開催とし、幼稚園や小学校のお子さんを持つ親等が参加しやすくなるよう工夫して開催していく。また、特定保健指導との連携協力も検討していく。 ・健康相談については、まだ、周知が十分でないことが考えられるので、ポスターやチラシ、ホームページ等で周知方法を工夫していく。 ・階段利用ポスターについては、引き続き働く世代の人たちに「日常生活の中で身体活動を増やす工夫」の１つとして、市内の施設等に掲示してもらえるよう働きかけていく。

※　●：健康増進計画　　■：食育推進計画

1） 2） 3）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
② ④ ⑥	特定健康診査事業 （国保） 特定保健指導事業 （国保）	・40歳から74歳までの国保被保険者に対する特定健康診査の実施 ・内臓脂肪型肥満に着目した検査項目での健診を、保健所健診センター及び医療機関に委託し実施 ・40歳から74歳までの国保被保険者に対する特定保健指導の実施 ・毎年5月に受診券を送付 広報紙、ホームページ等で周知 ・対象者へ受診券を発行し、特定保健指導を医療機関に委託し実施	**健康保険課**

27年度計画	・H27年５月　特定健康診査受診券発送。（健診案内改善） ・特定健康診査受診結果通知の迅速化。 ・特定健康診査対象者が特定健康診査の代わりに人間ドックを受けた場合、1万円を上限に助成。 ・特定健康診査未受診者にはがき・電話・訪問による受診勧奨。 ・特定保健指導利用券の発送の迅速化。 ・特定保健指導（積極的支援）の実施機関に横須賀市保健所健診センターを追加。 ・特定保健指導未利用者についてはがき・電話・訪問による利用勧奨。 ・ハイリスク者への保健指導の実施。 ・特定健康診査・レセプトデータの解析に基づき策定したデータヘルス計画の推進。
実績と評価	おおむね計画通り実施しました。
28年度計画	・受診勧奨通知の内容変更（個人属性や受診動向等の分析による文面変更） ・早期受診促進キャンペーン ・はがき・電話・訪問による受診勧奨 ・健診案内の改善 ・人間ドックにかかる費用の一部助成　助成上限額1万円 ・特定健康診査受診結果通知の迅速化 ・生活習慣病発症予測通知（生活習慣病の発症リスクを数値化した通知）の送付 ・はがき・電話・訪問による利用勧奨 ・特定保健指導利用券の発送の迅速化 ・特定健康診査・レセプトデータの解析に基づいて策定したデータヘルス計画の推進

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:健康づくりを目的としたネットワーク

（1）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（2）地域健康づくりネットワークへの取り組み

(1)-1) (1)-3) (2)-1) (2)-2) (2)-3) (2)-5)	食生活改善推進員を増やす取り組み（●■） ラジオ体操を指導できる人を増やす取り組み（●） 地域健康教育、講座の実施（●■） 健康づくりグループの育成（●■） 食生活改善推進員の活動の周知（●■） 地域職域との連携を図る（ラジオ体操の推進、食事バランスの啓発、禁煙対策、適量飲酒、こころの健康など）（●■）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ③ ⑦ ⑨ ⑩ ⑫	健康づくり推進事業 健康教育事業	・健康づくりリーダーの育成 ・ラジオ体操指導者研修会等の開催 ・地域からの依頼による健康教育の実施 ・ホームページへの掲載やチラシの配布等による周知 ・職域からの依頼による健康教育の実施	保健所 健康づくり課

27年度計画	・ヘルスメイト養成講座については、引き続き参加者が増えるように周知方法等を工夫する。 ・ラジオ体操サポーター養成講座については、昨年度同様市民向け３回、市職員向け２回養成講座を実施。27年度は新たに、地域の核になるスポーツ推進委員向けに養成講座を実施する予定。 ・ラジオ体操サポーターのフォローアップ研修も3回開催予定。 ・ラジオ体操活動グループの登録制度については、引き続き周知を図り、ラジオ体操の輪を広げていきたい。
実績と評価	・ヘルスメイト養成講座募集をヘルスメイト紹介の広報記事と連動させたことや、詳細を記載したチラシを配布したことにより、参加者が18名となった。 ・ラジオ体操サポーター養成講座は、市民を対象に3回、スポーツ推進委員対象に１回、職員対象に2回開催した。ラジオ体操サポーターは419人(職員は除く)となり、目標値を大幅に越えた養成数となっている。スポーツ課と協力して、スポーツ推進委員対象の養成講座を開催したことで、ラジオ体操活動グループの立ち上げにつながったり、地域の行事等の中でラジオ体操を取り入れていただいたりといった広がりにつながった。 ・ラジオ体操サポーターフォローアップ研修は3回開催。うち2回は全国ラジオ体操連盟から講師を派遣してもらい、サポーター自身のラジオ体操の理解を深める機会となった。 ・ラジオ体操活動グループについては65箇所となり、目標値を大幅に超える数となった。しかし、高齢化や人集めのといった問題で、継続ができなくなっているグループもでてきている。また、地域により活動に偏りがある等の課題があるため、次年度につなげていきたい。 ・地域からの依頼による健康教育の実施は33回、のべ1,362人に実施した。同グループからの複数回の申込が多いことが課題であるため、マンパワーとの兼ね合いを図りながら、地域・職域への周知が課題である。
28年度計画	・ヘルスメイト養成講座については、引き続き参加者が増えるように周知方法等を工夫する。 ・ラジオ体操については、サポーター養成講座を例年通り開催するとともに、新事業として、地域型ラジオ体操イベント、観光型ラジオ体操イベントを開催する。このようなイベントにサポーターも巻き込みながら行っていくことで、養成したサポーターのモチベーションを高めていけるようにしたい。 ・夏休み前に、市民にラジオ体操を通じた健康づくりについて周知を図るため「ラジオ体操新聞」を作成し、回覧板を利用し周知を図る予定。これによりラジオ体操サポーターの活動の周知や、ラジオ体操活動グループ登録について、より広めていけるようにしたい。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

(1)-2) (2)-1)	介護予防サポーターの活用（●） 地域健康教育、講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
② ⑧	地域介護予防活動支援事業	・介護予防サポーターのフォローアップ ・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施	**高齢福祉課**
27年度計画	（地域）地域の底力アップ教室　30回　900人 （地域）地域型介護予防教室　326回 （地域）ふれあい地域健康教室　30回　延800人 （地域）介護予防サポーター養成講座　３コース　630人（１コース　70人） 介護予防サポーターフォローアップ研修　約600人		
実績と評価	（地域）地域の底力アップ教室　10回　実363人 （地域）地域型介護予防教室　268回　実3,820人　延べ5,388人 （地域）ふれあい地域健康教室　35回　1,321人 （地域）介護予防サポーター養成講座　3コース　養成数 110人 介護予防サポーターフォローアップ研修　5回　372人 介護予防サポーターの方が、フォローアップ研修以外でも、市主催の教室などにボランティアとして従事できる環境を整えることで、自己啓発をはかりつつも地域へ貢献する場も設定しています。 また、平成28年1月に開始された介護予防・日常生活支援総合事業に関する「ふれあい地域健康教室」が市内各所で行われ、今年度の開催回数と参加人数が増えました。		
28年度計画	（地域）地域の底力アップ教室　30回　900人 （地域）地域型介護予防教室　326回 （地域）ふれあい地域健康教室　70回　延1,000人 （地域）介護予防サポーター養成講座　２コース　延420人（１コース　70人） 介護予防サポーターフォローアップ研修　約600人		

(2)-1)	地域健康教育、講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
④	周産期支援事業 母子健康教育指導事業	・妊娠期から子育て期の各種教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	**こども健康課**
27年度計画	引き続き、妊婦や母親同士の情報交換や交流、相談の機会を提供し、地域での仲間づくりの機会とし、子育ての孤立化を防ぎ、前向きに子育てに取り組めるようにしていく。		
実績と評価	・プレママプレパパ教室32回（平日14回、土日16回、夜2回）、妊産婦サロン42回、出張型妊産婦サロン26回、対象別サロン（若年妊産婦、高齢妊産婦対象）11回、育はぐ教室（66回の実施の中で、妊産婦、母親同士の交流を図り、仲間づくりの機会とした。実施回数については、参加実績等もかんがみて、検討していきたい ・地域依頼の健康教育231回の実施		
28年度計画	引き続き、妊婦や母親同士の情報交換や交流、相談の機会を提供し、地域での仲間づくりの機会とし、子育ての孤立化を防ぎ、前向きに子育てに取り組めるようにしていく。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

(2)-1)	地域健康教育、講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑤	コミュニティセンター運営管理事業	・コミュニティセンターにおける各種講座の実施	地域コミュニティ支援課 各行政センター
27年度計画	生涯現役という観点から高齢者教室の内容を充実させる。高齢福祉課の介護予防事業と連携し実施するコミュニティセンターを６コミュニティセンターとする。家庭教育学級においては参加者増加に努める。 旧公民館のコミュニティセンター9館だけでなく、旧地域自治活動センターのコミュニティセンターでも可能な限り実施するよう努める。		
実績と評価	高齢者教室に高齢福祉課の介護予防事業を連携させた事業にし、6コミュニティセンターで実施した。その他、一般向けにも心身の健康増進を目的とした講座を実施した。家庭教育学級では、親子などを対象とした講座を実施し、多数の参加があった。 どの講座も、参加者のアンケートによると高い評価を得ており、中にはサークルが立ち上がったケースもあることから、地域健康教育の一助になった。		
28年度計画	生涯現役という観点から高齢者教室の内容を充実させる。高齢福祉課の介護予防事業と連携し実施するコミュニティセンターを9コミュニティセンターとする。 家庭教育学級においても引き続き内容の充実と参加者増加に努める。		

(2)-1)	地域健康教育、講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑥	生涯学習センター運営管理事業	・各種講座、市民大学の開催	**生涯学習課**
27年度計画	・生涯学習センター指定管理事業において、市民大学（50講座以上）を含む各種講座を実施する。 ・市民大学などにおいて、健康に関する講座を実施する。		
実績と評価	・市民大学を年間59講座実施した。 ・学習成果地域活用事業の一環で、Yokosukaまなび情報登録講師のデビュー講座８講座を実施した。 ・身体の健康に関する講座は、市民大学「はじめてのアロマとセルフケア」、「「食」を楽しく学ぶ」、「見た目からはじめるアンチエイジング！」、「ノルディックウォーキングと横須賀歴史探訪」、「医師・薬剤不要：自分でできる生活習慣病予防法」、「いつでも、どこでも、誰にでも役立つ、正しい水分管理のいろは」、「手づくりしましょう６～柔らかくてたべやすい料理づくりの工夫～」、「発酵料理学　～手作り発酵食品で健康生活を送りましょう～」、講師デビュー講座「ゆったり気分でヒザ腰楽ちんハーモニー体操」など。 それ以外の講座について、個人のニーズに合った講座に参加することが生きがいとなり、心の健康づくりにつながるととらえている。		
28年度計画	・生涯学習センター指定管理事業において、市民大学（50講座以上）を含む各種講座を実施する。 ・市民大学などにおいて、健康に関する講座を実施する。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

<table>
<tr><td>⑵-4)</td><td colspan="3">スポーツ推進委員の活用（●）</td></tr>
<tr><td>番号</td><td>事業名</td><td>事業内容</td><td>担当課</td></tr>
<tr><td>⑪</td><td>新体力テスト測定員養成事業</td><td>・新体力テスト測定員講習会の実施
・学校へのスポーツ推進委員の派遣
・スポーツフェスタの開催</td><td>スポーツ課</td></tr>
<tr><td colspan="2">27年度計画</td><td colspan="2">＜新体力テスト測定員講習会の実施＞
・平成27年９月12日（土）に新体力テスト測定員講習会を開催する予定。
＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞
・前年度の実施内容を改善し、新体力テスト測定員を学校へ派遣する。その後、派遣結果をもとにさらなる反省点・今後の課題を洗い出し、それを踏まえて測定員研修を開催し、次年度以降の事業の拡充につなげる。
＜スポーツフェスタの開催＞
・平成27年10月12日（月・祝）によこすかスポーツフェスタ2015を開催し、北体育会館・サブアリーナにおいて、スポーツ推進委員が役員となって新体力テストの測定を行う予定。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実績と評価</td><td colspan="2">＜新体力テスト測定員講習会の実施＞
・平成27年９月12日（土）に西体育会館で新体力テスト測定員講習会を開催し、16名が参加した。
＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞
・21の小学校にスポーツ推進委員を延べ104名を派遣した。
＜スポーツフェスタの開催＞
・平成27年10月12日（月・祝）のよこすかスポーツフェスタ２０１５を予定通り実施した。</td></tr>
<tr><td colspan="2">28年度計画</td><td colspan="2">＜新体力テスト測定員講習会の実施＞
・平成28年８月11日（木・祝）に新体力テスト測定員講習会を開催する予定。
＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞
・前年度の実施内容を改善し、新体力テスト測定員を学校へ派遣する。その後、派遣結果をもとにさらなる反省点・今後の課題を洗い出し、それを踏まえて測定員研修を開催し、次年度以降の事業の拡充につなげる。
＜スポーツフェスタの開催＞
・平成28年10月10日（月・祝）によこすかスポーツフェスタ２０１６を開催し、北体育会館・横須賀アリーナにおいて、スポーツ推進委員が役員となって新体力テストの測定を行う予定。</td></tr>
</table>

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:食育

1） 2） 4） 8） 9）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） １人で食事をするこどもを減らす取り組み（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■） 農業体験を経験する機会の提供（■）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ⑤ ⑧ ⑯ ⑳	食育活動 食指導 園内菜園	・食育パフォーマンスの実施 ・食事のおたよりの配布 ・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食 ・依頼による食育講話の実施 ・園内菜園の実施	**保育運営課**

27年度計画	26年と同様 ・食育パフォーマンスの実施　　・食事のおたよりの配布 ・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食　　・依頼による食育講話の実施 ・園内菜園の実施・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演 ・日本中国料理協会湘南支部による「餃子でクッキング」
実績と評価	・食育パフォーマンスの実施　10園　テーマ「骨を丈夫に」 ・食事のおたよりの配布　認可、認可外保育施設67施設へ毎月送付 ・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食　毎食実施、園独自の食育活動 ・依頼による食育講話の実施　保護者にむけての食育講話 ・園内菜園の実施し給食で取り入れる ・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演　４園 ・日本中国料理協会湘南支部による「餃子でクッキング」３園
28年度計画	27年と同様 ・食育パフォーマンスの実施　　・食事のおたよりの配布 ・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食　　・依頼による食育講話の実施 ・園内菜園の実施・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

1） 2） 4） 8）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） １人で食事をするこどもを減らす取り組み（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）

番号	事業名	事業内容	担当課
② ⑥ ⑨ ⑰	周産期支援事業 母子健康教育指導事業 訪問指導 母子健康診査事業	・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	こども健康課

27年度計画	26年度と同様に取り組む 妊娠期から子育て期（乳幼児期）は、健康的な食習慣の基礎づくりとなる時期のため、各種事業で食事バランスガイド等を活用し、バランスよく3食食べることについて伝えていく。 ・「日本人の食事摂取基準」は5年毎に改定されるため、平成26年に「日本人の食事摂取基準（2015年版）」が厚生労働省から発表され、平成27年から実施となる。このため、平成26年度中に乳幼児を対象とした事業のパンフレットを見直し、平成27年度から使用出来る様に準備を行う。
実績と評価	・各種事業において、共食の重要性、妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べる食べ方等について普及啓発を行った。 ・手軽に食事づくりが出来るようにするため、幼児期レシピの配布等、情報提供を行った。 ・乳幼児健診（乳児、1.6歳児、3.6歳児）および各種教室（モグモグ教室、ハミガキッズセミナー、パクパク教室）で使用するパンフレットの見直しを行い、新たに作成したパンフレットを使用して事業を行った。
28年度計画	・平成27年度と同様に、各種事業において共食の重要性、妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べる食べ方等について普及啓発を行っていきたい。 ・ホームページ等を活用した母子保健に関する食の情報提供について検討していきたい。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

1） 3） 4） 7） 8）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） 栄養成分表示の活用方法の普及（■） 食育に関する情報の提供（■） よこすかＥ表示協力店、情報発信店を増やす取り組み（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）

番号	事業名	事業内容	担当課
③ ⑦ ⑪ ⑮ ⑱	健康づくり推進事業 健康食生活推進事業 健康教育事業	・食育推進教室の実施 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・食品衛生協会主催の講習会および、巡回での説明の実施 ・外食の栄養成分表示を上手に活用するための教室の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発	保健所 健康づくり課

27年度計画	・食文化への理解をすすめるための食育推進教室の実施 ・各世代に対するかんたんメニュー教室、男性の和食をつくる教室、バランスのよい食事をつくる教室の実施 ・食育に関する情報提供のためのキャンペーン ・飲食店における栄養成分表示をすすめるための講習会などの実施 ・外食の栄養成分表示を上手に活用するための教室の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページなどを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる食べることの大切さを伝える委託事業の実施 ・ヘルスメイトによる食文化への理解をすすめるための講話実演 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施
実績と評価	・食文化への理解をすすめるための食育推進教室の実施（1回15人） ・忙しい子育て及び若い世代に対するかんたんメニュー教室、男性の和食をつくる教室、小家族で食べるバランスのよい食事をつくる教室の実施（6回　71人） ・食育に関する情報提供のためのキャンペーン（イオン店頭にて実施　延1412人） ・市民向け外食、栄養成分表示を活用するための講習会の実施（1回20人） ・ポスター・ちらし・市ホームページなどを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる食べることの大切さを伝える委託事業の実施（3回34人） ・ヘルスメイトによる食文化への理解をすすめるための講話実演（公立保育園４園） ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施（15回　273人）
28年度計画	・食文化への理解をすすめるための食育推進講習会の実施 ・各世代に対するかんたんメニュー教室、メンズ料理、バランスのよい食事をつくる教室の実施 ・食育に関する情報提供のためのキャンペーン ・飲食店における栄養成分表示をすすめるための講習会などの実施 ・外食の栄養成分表示を上手に活用するための教室の実施 「よこすかＥ表示協力店」から「よこすかＥ表示」メニュー設置店 「よこすかＥ表示情報発信店」から「よこすかＥ表示」普及協力店へと名称変更 ・ポスター・ちらし・市ホームページなどを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる食べることの大切さを伝える委託事業の実施 ・ヘルスメイトによる食文化への理解をすすめるための講話実演 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

１） ４） ８）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）

番号	事業名	事業内容	担当課
④ ⑫ ⑲	地域介護予防活動支援事業 基礎身体能力向上事業 介護予防普及啓発事業	・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・介護予防に関する知識の普及と教室の実施	**高齢福祉課**

27年度計画	(地域) ふれあい地域健康教室　　３０回 (基礎) 栄養バランスアップ教室　２日コース×４会場　定員１５人 (普及) 男性料理教室　１日コース×８会場　定員１５人 １日コース×４会場　定員２０人 (普及) のみこみらくらく教室（栄養・歯科）　３日コース×３会場　　定員１５人 (普及) シニアのための栄養講座　１日コース×７会場　定員20人 (普及) 小食の方のための栄養教室（栄養・歯科）　２日コース×４会場　　定員２０人 (普及) 生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携）1回×6コミセン
実績と評価	(地域) ふれあい地域健康教室(栄養教室のみ)　７回　延)155人 (基礎) 栄養バランスアップ教室　２日コース×３会場（1会場は参加者なし）　実)32人　延)56人 (普及) 男性料理教室　１日コース×１２会場　実)182人　延)182人 (普及) のみこみらくらく教室　３日コース×３会場　実)30人　延)59人 (普及) シニアのための栄養講座　１日コース×７会場　実)103人　延)103人 (普及) 小食の方のための栄養教室（栄養・歯科）2日コース4会場　実)42人　延)76人 (普及)生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）　1回×６コミセン　実）173人　延）173人 市民アンケート結果で食育への関心度の低いと言われている60～６９歳の男性を対象者に含む、男性料理教室においては「食に対する正しい知識や正しい情報を選択する力」に注力し実施しました。
28年度計画	(地域) ふれあい地域健康教室　　70回 (普及) 男性料理教室　１日コース×８会場　定員１５人 １日コース×４会場　定員２０人 (普及) のみこみらくらく教室（栄養・歯科）　３日コース×３会場　　定員１５人 (普及) シニアのための栄養講座　１日コース×５会場　定員20人 シニアのための栄養講座（実践現）1日コース×2会場　定員20人 (普及) 小食の方のための栄養教室　２日コース×９会場　　定員２０人 (普及) 生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携）1回×９コミセン

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

4） 5）	食育に関する情報の提供（■） 学校給食での地産地消の推進（■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑩ ⑬	学校保健関係指導	・夏季研修講座「食育」、食指導研修 ・給食だより等による意識啓発 ・学校給食での地場産物の使用の推進 （統一献立および自校献立）	**学校保健課**
27年度計画	・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。 ・統一献立における地場産物の使用割合を13.2%以上を目指していく。 ・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。 ・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内小学校3校をモデル校として試行する。		
実績と評価	・国士舘大学 北俊夫 教授を講師として招聘し、夏季研修講座（食育）を実施した。（平成27年７月29日９：30～12：00） ・統一献立における地場産物の使用割合13.2%を超える15.1%の実績結果を得ることができた。 ・市立学校食育担当者会議を２回開催した。（5/13と2/26に実施） ・「給食時間マニュアル」を市内小学校３校にてモデル試行し、その結果検証を受けて平成28年度版「給食時間マニュアル」を作成、全小学校へ配布した。		
28年度計画	・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。 ・統一献立における地場産物の使用割合を13.2%以上を目指していく。 ・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。 ・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で試行実施する。		

6）	食の安全性の普及啓発（■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑭	食品衛生事業	・食のセミナーおよび食品衛生講習会開催	**保健所 生活衛生課**
27年度計画	・市民向け食品衛生講習会を開催 ・かながわ食の安全・安心基礎講座を平成27年６月開催 ・食のセミナーを平成28年２月開催		
実績と評価	・市民向け食品衛生講習会を年間８回開催 ・平成27年度第３回かながわ食の安全・安心基礎講座を平成27年６月26日（金）に開催（食品添加物の基礎知識と食の安全・安心の確保の取組みについて） ・食のセミナーを平成28年２月26（金）に開催（肉の生食の危険性） 市民に対し食の安全・安心について啓発することができた。		
28年度計画	・市民向け食品衛生講習会を開催 ・食のセミナーを平成29年２月開催		

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

９）	農業体験を経験する機会の提供（■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
㉑	地産地消推進事業	・農業体験の実施（児童対象） ・親子酪農体験の実施（児童・保護者対象）	**農林水産課**
27年度計画	①年２回実施予定 （夏季・冬季に小学校５・６年生各回50人対象に実施予定） ②年１回実施予定 （小学生とその保護者、計40人対象に実施予定）		
実績と評価	【実績】 ①農業体験：年２回実施（夏季＝42名　冬季＝44名　参加） ②親子酪農体験：年１回実施（39名　参加（児童20名・保護者19名）） 【評価】 ①多くの参加者が「農業の大変さがわかった」、「農産物がどのように作られているかを知った」と回答し、この事業の目的が達成されていることが明らかになった。 ②体験に対する満足度の高さが窺えた。普段馴染みのない動物と直接触れ合った体験が楽しかったという感想が多く、親子で体験出来るイベントとして、全ての保護者が誰かにこのイベントを「勧めたい」と回答した。		
28年度計画	①年２回実施予定 （夏季・冬季に小学校５・６年生各回50人対象に実施予定） ②年１回実施予定 （小学生とその保護者、計45人対象に実施予定）		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:栄養と食生活

（1）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ⑤ ⑩ ⑭	健康診断 食育活動 調理員講習会	・内科健診の実施 ・食事のおたよりの配布や食育パフォーマンスの実施 ・保育園調理員を対象とした調理講習会の実施	**保育運営課**

27年度計画	26年度と同様 ・内科健診の実施 ・食事のおたよりの配布や食育パフォーマンスの実施 ・保育園調理員を対象とした調理講習会の実施
実績と評価	・内科健診の実施　0～２歳児　全園毎月実施　３～５歳児は、年３回実施 ・食事のおたよりの配布　毎月、市内の保育施設に配布 ・食育パフォーマンスの実施　骨をテーマにバランスのとれた食生活や運動について学ぶ ・保育園調理員を対象とした調理講習会の実施
28年度計画	27年度と同様 ・内科健診の実施 ・食事のおたよりの配布や食育パフォーマンスの実施 ・保育園調理員を対象とした調理講習会の実施

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）

番号	事業名	事業内容	担当課
② ⑥ ⑪ ⑮	周産期支援事業 母子健康教育指導事業 訪問指導 母子健康診査事業	・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	**こども健康課**

27年度計画	・26年度に作成したパンフレットを活用し、各種事業で健康的な食習慣やバランス良く3食食べることについて伝えていく。
実績と評価	・乳幼児健診（乳児、1.6歳児、3.6歳児）および各種教室（モグモグ教室、ハミガキッズセミナー、パクパク教室）で使用するパンフレットの見直しを行い、新たに作成したパンフレットを使用して事業を行った。 ・各種事業では、バランスよく3食食べることの知識の普及を行った。
28年度計画	・平成27年度と同様に、各種事業においてバランスよく３食食べるの知識の普及を行う。

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）

番号	事業名	事業内容	担当課
③ ⑧ ⑫ ⑯	健康づくり推進事業 健康食生活推進事業 健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・食育推進教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施	保健所 健康づくり課

２７年度計画	・バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）食べることに重点をおいた各種健康教室の実施 ・食育推進教室の実施 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページなどを利用した普及啓発 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施
実績	・バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）食べることに重点をおき、病態別健康教室・栄養教室を行いました。（4回　25人） ・食育推進教室（元気アップサンデー）（１回　19人） ・ヘルスメイトによるメタボリックシンドロームの予防やバランスよく食べることの大切さを伝える委託事業を実施しました。（５回　63人） ・ポスター・ちらし・市ホームページなどを利用した普及啓発をしました。（随時　各種教室等） ・地域や職域からの依頼による健康教育を実施しました。（15回　273人）
28年度計画	・バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）食べることに重点をおいた各種健康教室の実施 ・食育推進教室（元気アップサンデー）の実施 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページなどを利用した普及啓発 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）

番号	事業名	事業内容	担当課
④ ⑨ ⑬ ⑰	介護予防普及啓発事業 基礎身体能力向上事業 高齢者訪問指導事業 機能訓練事業 地域介護予防活動支援事業	・介護予防に関する知識の普及のための訪問、教室の実施 ・心身機能の維持を目的とした教室の実施 ・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施	**高齢福祉課**

27年度計画	(普及）男性料理教室　１日コース×８会場　定員１５人 １日コース×４会場　定員２０人 (普及）のみこみらくらく教室（栄養・歯科）　３日コース×３会場　定員１５人 (普及）シニアのための栄養講座　１日コース×７会場　定員20人 (普及）生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携）1回×6コミセン (普及）小食の方のための栄養教室（栄養・歯科）　２日コース×４会場　定員２０人 (基礎）栄養バランスアップ教室　２日コース×４会場　定員１５人 (訪問）５人 (機能）身体　２日コース×4会場　定員20名 (地域）ふれあい地域健康教室　３０回
実績と評価	(普及）男性料理教室　１日コース×１２会場　実)182人　延)182人 (普及）のみこみらくらく教室　３日コース×３会場　実)30人　延)59人 (普及）シニアのための栄養講座　１日コース×７会場　実)103人　延)103人 (普及)生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）　1回×６コミセン　実）173人　延）173人 (普及）小食の方のための栄養教室（栄養・歯科）　2日コース×4会場　実）42人　延）76人 (基礎）栄養バランスアップ教室　２日コース×３会場（1会場は参加者なし）　実)32人　延)56人 (訪問）０人　訪問型介護予防事業　０人 (機能）身体　２日コース×4会場　実）47人　延）61人 (地域）ふれあい地域健康教室(栄養教室のみ）　7回　延)155人 いずれの教室においても、「主食・主菜・副菜」の食事バランスの目安を活用しやすくする取り組みを組み実施しました。
28年度計画	(普及）男性料理教室　１日コース×８会場　定員１５人 １日コース×４会場　定員２０人 (普及）のみこみらくらく教室（栄養・歯科）　３日コース×３会場　定員１５人 (普及）シニアのための栄養講座　１日コース×５会場　定員20人 (普及）シニアのための栄養講座（実践編）1日コース×2会場　定員20人 (普及）生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携）1回×９コミセン (普及）小食の方のための栄養教室　２日コース×９会場　定員２０人 (訪問）５人 (機能）身体　２日コース×4会場　定員20名 (地域）ふれあい地域健康教室　70回

※　●:健康増進計画　■:食育推進計画

(1)-2)	バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑦	学校保健関係指導	・夏季研修講座「食育」、食指導研修 ・給食だより等による意識啓発	**学校保健課**

27年度計画	・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。 ・統一献立における地場産物の使用割合を13.2%以上を目指していく。 ・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。 ・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内小学校3校をモデル校として試行する。
実績と評価	・国士舘大学 北俊夫 教授を講師として招聘し、夏季研修講座（食育）を実施した。（平成27年7月29日　9：30～12：00） ・統一献立における地場産物の資料割合を ・市立学校食育担当者会議を２回開催した。（5/13と2/26に実施） ・「給食時間マニュアル」を市内小学校３校にてモデル試行し、その結果検証を受けて平成28年度版「給食時間マニュアル」を作成、全小学校へ配布した。
28年度計画	・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。 ・統一献立における地場産物の使用割合を13.2%以上を目指していく。 ・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。 ・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で試行実施する。

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:身体活動・運動

（1）ライフステージにあわせた日常生活（生活活動）の中で、身体活動を増やす取り組み

（2）ライフステージにあわせた体力の維持、向上を目的として計画的、意図的に実施する運動を増やす取り組み

(1)-1) (2)-1) (2)-2) (2)-3)	生活活動（労働、家事、通勤、通学など）を活用した身体活動量の増加の取り組み（●） ラジオ体操、ウォーキングなどの普及（●） 健康増進センター、運動施設（体育会館・プール）等の活用（●） 運動の各種教室等の実施（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ③ ⑤ ⑦	健康づくり推進事業 健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・健康増進センターと連携した健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施	**保健所** **健康づくり課**

27年度計画	・階段利用のポスターについては作成し、市関係機関・企業等に配布する予定。（本庁舎内に貼ることについては、総務部総務課の了解をいただいた） ・ウオーキングについては、ヨコスカウオーキング協会、横須賀歩け歩け協会それぞれと共同でウオーキングイベントを開催。 ・カレーフェスティバルと産業まつりでラジオ体操を実施。 ・その他26年度と同様の取り組みを継続。
実績と評価	・階段利用ポスターはＡ３を1,500枚、Ａ４を500枚作成し、市関係施設、駅等に掲示を依頼した他、職域では商工会議所での配架を依頼した。特に、働く世代をターゲットとして、「日常生活の中で身体活動を増やす」ことを目的として作成した。 ・夏休み前に子どもと保護者に向けて、ラジオ体操の普及啓発を図るために「ラジオ体操新聞」を作成し、市内全小学校を通して全児童に配布した。地域からは「夏休みが終わってからも継続してラジオ体操に参加する子どもが増えた」との声があった。 ・ラジオ体操活動グループが65箇所となり、それぞれのグループに参加する市民も増えてきている。 ・8月にはかもめ団地でラジオ体操活動2周年記念イベントが開催され、市も後援した。当日は500人ほどが集まり盛況であった。このように、地域での活動は活性化されてきている。 ・ウオーキングはヨコスカウオーキング協会、横須賀歩け歩け協会それぞれと共催でウオーキングイベントを2回開催した。153名が参加された。 ・体に負担をかけない歩き方を学ぶ講座として、ウオーキング講座とロコモ予防講座を開催し、計198名が参加した。
28年度計画	・階段利用ポスターは、今後も周知を図り、市内の施設、事業所等に掲示を依頼していく。 ・ラジオ体操については、今年度は全市民を対象とした「ラジオ体操新聞」を作成し、夏休み前に回覧板で周知していく。 ・新規に地域型ラジオ体操イベントを市内4地区で開催する。 ・カレーフェスティバルと産業まつりでは今年度から観光型ラジオ体操イベントとして、講師を招きステージでワンポイントレッスンを開催し、関心のない人たちや、若い年齢層の人たちへのアプローチを図る。 ・ウオーキングについては講演会１回、イベント2回を開催予定。イベントの１つはすこやかんと連携し、ノルディックウオーキングのイベントを検討中。

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

(2)-1) (2)-2) (2)-3)	ラジオ体操、ウォーキングなどの普及（●） 健康増進センター、運動施設（体育会館・プール）等の活用（●） 運動の各種教室等の実施（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
② ④ ⑥	市民レクリエーション事業 学校体育施設開放奨励事業 体育会館管理委託、営繕工事 市民スポーツ教室事業	・夏休みを利用したラジオ体操の会の実施 ・ラジオ体操講習会の実施 ・学校体育館施設の地域住民等への開放の実施 ・体育会館等の適正な維持管理、修繕 ・幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催	スポーツ課

27年度計画	＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを継続して行う。 ＜ラジオ体操講習会の実施＞ ・県立保健福祉大学と共催で６月と11月に講習会を実施予定。 ＜学校体育館施設の地域住民等への開放の実施＞ ・市内の全小中学校において、地域住民への開放を行う。 ＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・３施設において大規模な営繕工事を予定している。 ＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・18教室50コースを実施予定。
実績と評価	＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを行った。 ＜ラジオ体操講習会の実施＞ ・県立保健福祉大学と共催で６月と１０月に講習会を実施した ＜学校体育館施設の地域住民等への開放の実施＞ ・市内の全小中学校において、地域住民への開放を行った。 ＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・３施設において大規模な営繕工事を予定通り実施した。 ＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・18教室50コースを予定通り実施した。
28年度計画	＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを継続して行う。 ＜ラジオ体操講習会の実施＞ ・県立保健福祉大学と共催で6月と１０月に講習会を実施予定。 ＜学校体育館施設の地域住民等への開放の実施＞ ・市内の全小中学校において、地域住民への開放を行う。 ＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・3施設において大規模な営繕工事を予定している。 ＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・18教室50コースを実施予定。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

⑵-3)	運動の各種教室等の実施（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑧	介護予防普及啓発事業 地域介護予防活動支援事業 機能訓練事業 基礎身体能力向上事業	・介護予防に関する知識の普及と運動習慣の増進を目的とした教室の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施 ・心身機能の維持を目的とした教室の実施	高齢福祉課

27年度計画	（普及）生涯現役フォーラム　　1回　1,000人 （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）　6コミセン×1回 （普及）高齢者体力づくり教室　7コース×4回　　定員35人 （普及）関節らくらく教室　3コース×4回　定員35人 （普及）骨密度アップ教室　２コース×6回　定員40人 （普及）いきいき健康体操教室　４コース×11回　各コース定員３５名 （地域）地域型介護予防教室　326回 （機能）機能訓練 身体　42回×4コース　　言語24回×1コース （基礎）シニアはつらつ教室通所型　５コース×11回　定員20人まで （基礎）シニアはつらつ教室スタジオタイプ　11コース×11回　定員20人まで
実績と評価	（普及）　生涯現役フォーラム　1回729人 （介護予防講演会 245人、生涯現役講演会 130人、セミナー等 354人） （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）　６回　実）165人　延）165人 （普及）高齢者体力づくり教室　28回　　実)195人　延)695人 （普及）関節らくらく教室　11回　実)82人　延)261人（１回は台風で中止） （普及）骨密度アップ教室　12回　実)７６人　延)376人 （普及）いきいき健康体操教室　44回　実）125人　延）1,158人 （地域）地域型介護予防教室　268回　実）3,820人　延）5,388人 （機能）身体　168 回　実)43人　延)1,194人 言語　24回　　実)17人　延)267人 （基礎）シニアはつらつ教室通所型　55回　実)70人　延)592人 （基礎）シニアはつらつ教室スタジオタイプ　121回　実)128人　延)1,155人 運動しやすい環境作り、運動を始めるきっかけづくりとして、身近でいつでも始められるよう、開催場所と開催時期を検討して、実施しました。
28年度計画	（普及）生涯現役フォーラム　　1回　1,000人 （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）　９コミセン×１回 （普及）高齢者体力づくり教室　7コース×4回　　定員35人 （普及）関節らくらく教室　６コース×4回　定員35人 （普及）骨密度アップ教室　３コース×6回　定員40人 （普及）いきいき健康体操教室　６コース×８回　各コース定員30名 （地域）地域型介護予防教室　326回 （機能）機能訓練　身体　128回　　言語　18回 移行期　身体　40回　　言語6回

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:休養・こころの健康

(1)-1) (1)-2) (2)-1) (2)-2) (2)-3)	睡眠と生活習慣病は関連があるという知識の普及啓発（●） 生活リズムを整えることの重要性についての啓発（●） 相談窓口等の情報提供（●） 各種講座・講演等の実施（●） サポート体制の充実（ゲートキーパーの育成等）（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ② ③ ⑤ ⑥	健康教育事業 精神保健対策事業	・生活習慣病と睡眠に関する健康教室の実施 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施 ・休養に関する健康教室の実施 ・相談することの大切さについての啓発 ・相談機関を掲載した冊子の配布 ・ホームページ上に相談機関の掲載 ・講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施 ・生きる支援連絡会の実施	保健所 健康づくり課

27年度計画	・駅前街頭キャンペーン（9月、3月）の実施 ・中小企業等にむけての「横須賀こころのホットライン」の配布。 ・ゲートキーパー養成研修を市民及び、団体向けに行う。また、ゲートキーパー養成研修受講済の方に対して、フォローアップ研修会を行う。 ・「睡眠に関する講演会」を１回実施。 ・すこやかんとの連携教室の中で、休養の必要性、睡眠と生活習慣病との関連の話を入れる。
実績と評価	・駅前街頭キャンペーンを9月と3月に実施。　99名参加。　4,760部配布 ・「横須賀こころのホットライン」を10,500部作製。ハローワークや生活保護相談窓口などで8,700部を配布。 ・ゲートキーパー養成研修・フォローアップ研修を実施。21回開催。延627人参加。
28年度計画	・自殺予防街頭キャンペーン（9月、3月）の実施 ・従前の配布先の他、医療機関の窓口等で「横須賀こころのホットライン」の配布。 ・ゲートキーパー養成研修を市民及び、団体向けに行う。また、ゲートキーパー養成研修受講済の方に対して、フォローアップ研修会を行う。

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

(2)-1)	相談窓口等の情報提供（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
④	⑴訪問型介護予防事業 ⑵認知症高齢者相談事業 ⑶高齢者・介護者のためのこころの相談	⑴二次介護予防対象者で、うつ傾向のある人への電話や訪問による支援 ⑵認知症に関して不安のある者及びその家族等に対しての支援 ⑶介護者の心の悩みを聞き、介護者が虐待に至ることを予防する。	**高齢福祉課**

27年度計画	（１）二次介護予防対象者への電話・訪問による支援。 ４月から１２月までは、訪問型二次対象者ケアマネジメントとして実施。 平成２８年１月からは、総合事業「短期集中サービスc」へ移行　年間６件 （２）専門医によるもの忘れ相談・訪問、認知症高齢者介護者の集い、若年性認知症のつどいの実施。 （３）高齢者・介護者のためのこころの相談の実施
実績と評価	（１）訪問型介護予防事業　0件 （２）専門医によるもの忘れ相談　２４回　延）58人 訪問　１回　延）１人 認知症高齢者介護者の集い　１８回 若年性認知症のつどい　６回 （３）高齢者・介護者のためのこころの相談　定例３６回 平成27年度は介護予防・日常生活支援総合事業への移行期間でもあったため、訪問型介護予防事業は実施がありませんでした。また、総合事業「短期集中サービスｃ」については1月より開始されていますが、対象者がありませんでした。
28年度計画	（１）総合事業「短期集中サービスC」　年間15件 （２）専門医によるもの忘れ相談、認知症高齢者介護者の集い、若年性認知症のつどい （３）高齢者・介護者のためのこころの相談

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:喫煙

１） ３） ４）	たばこをやめたい人及びその家族への支援（●） ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の知識の普及（●） 喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ④ ⑤	健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・地域、職域等へのチラシやポスターの配布	保健所 健康づくり課

27年度計画	平成27年度も引き続き年６回実施予定。 ポスター・チラシの配布や県立高校への喫煙防止教育も引き続き行う。
実績と評価	COPD卒煙教室を年６回開催し、参加者は延25人。３月に市関係機関、医師会、薬剤師会に次年度のポスター・チラシを配布した。神奈川県からの依頼で県立高校２校に対し、喫煙防止教育を行った。
28年度計画	COPD卒煙教室は、平成28年度も引き続き年６回実施予定。 ポスター・チラシの配布や県立高校への喫煙防止教育も引き続き行う。 世界禁煙デーにあわせ、５月23日～５月27日まで、市役所本庁舎１階で喫煙・受動喫煙の害についての啓発のためのパネル展示を行う。

２）	未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
②	青少年相談事業	・巡回指導の実施 ・非行防止講座の開催 ・青少年健全育成協力店の登録	こども青少年支援課

27年度計画	・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声を掛けていくこととする。 ・非行防止講座は、上限6回でできる範囲で行う。26年度も申込み自体は多かったが、キャンセル等あり2回にとどまったもの。 ・協力店の開拓は、年間30店舗程度を目標としたい。単に登録件数の増加を目指すのではなく、1件1件の店に対して、ていねいに事業の意義を伝え理解を求めたい。
実績と評価	・巡回指導は、年間653件で前年度を325件上回った。指導の内、喫煙がもっとも多かった。月3回程度公用車を利用し市内全域を巡回した。また、指導件数だけでなく、青少年に声を掛けた件数も計上。声掛け件数は184件と指導件数とあわせ837件となった。 ・非行防止講座は、3回実施（前年度２回）。「青少年の非行防止を考える」（対象：青少年育成活動地域連絡会,青少年活動推進の会）「思春期の子どもへの関わり方を考える」（対象：町内会）をテーマとした。 ・青少年健全育成協力店は、目標の300店舗に達した（前年度末現在、324店舗）。
28年度計画	・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声を掛けていくこととする。 ・非行防止講座は、上限５回でできる範囲で行う。 ・引く続き協力店の開拓を行い、店に対して事業の意義を伝え理解を求めたい。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

２）	未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
③	学校保健関係指導	・学習指導要領解説に基づく学習指導	**学校保健課**

27年度計画	・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。 引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。
実績と評価	・各学校における保健学習（体育科・保健体育科）のなかで、学習指導要領に基づいた喫煙や飲酒、薬物乱用防止についての正しい知識とそれによる正しい判断の大切さを学んだ。 ・小学校における薬物乱用防止教室を実施（発展学習）した。（薬物乱用防止キャラバンカーの派遣実績：市内18小学校） ・中学校における薬物乱用防止教室を実施（発展学習）した。（外部講師による薬物乱用防止に係る講演会：市内13中学校）
28年度計画	・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。

４）	喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
⑤	周産期支援事業 こんにちは赤ちゃん事業	・母子手帳交付時の保健指導 ・妊娠期から子育て期の各種教室の実施 ・生後４ヶ月までの乳児およびその保護者の全戸訪問の実施	**こども健康課**

27年度計画	引き続き、母子健康手帳交付時、周産期の各種教室、こんにちは赤ちゃん訪問等の機会に、喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及に努める。
実績と評価	母子健康手帳交付時面接、プレママプレ教室３２回（平日14回、土日16回、夜2回）での喫煙、受動喫煙の害についての啓発、COPD卒煙教室の案内を実施。低出生体重児出産予防のためにも継続して取り組む。
28年度計画	引き続き、母子健康手帳交付時、周産期の各種教室、こんにちは赤ちゃん訪問等の機会に、喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及に努める。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

取り組みの分野:飲酒

１）	身体に負担をかけない飲み方の普及啓発（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
①	健康教育事業	・地域職域等へのチラシやポスターの配布 ・健康教室の実施	保健所 健康づくり課

27年度計画	引き続き継続する。 ・健康教育事業の実施 ・健康相談事業の実施 ・健康相談・教室一覧表の作成と配布 ・庁内ガルーン掲示板への健康まめ知識の掲載 ・ホームページを活用した健康情報の発信
実績と評価	引き続き、生活習慣病のリスクを高める飲酒量や、適正飲酒の１０か条をホームページで掲載した。
28年度計画	引き続き継続する。

2）	未成年者に対する飲酒防止の取り組み（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
②	青少年相談事業	・巡回指導の実施 ・非行防止講座の開催 ・青少年健全育成協力店の登録	こども青少年支援課

27年度計画	・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声を掛けていくこととする。 ・非行防止講座は、上限6回でできる範囲で行う。26年度も申込み自体は多かったが、キャンセル等あり2回にとどまったもの。 ・協力店の開拓は、年間30店舗程度を目標としたい。単に登録件数の増加を目指すのではなく、1件1件の店に対して、ていねいに事業の意義を伝え理解を求めたい。
実績と評価	・巡回指導は、年間653件で前年度を325件上回った。月3回程度公用車を利用し市内全域を巡回した。また、指導件数だけでなく、青少年に声を掛けた件数も計上。声掛け件数は184件と指導件数とあわせ837件となった。 ・非行防止講座は、3回実施（前年度２回）。「青少年の非行防止を考える」（対象：青少年育成活動地域連絡会,青少年活動推進の会）「思春期の子どもへの関わり方を考える」（対象：町内会）をテーマとした。 ・青少年健全育成協力店は、目標の300店舗に達した（前年度末現在、324店舗）。
28年度計画	・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声を掛けていくこととする。 ・非行防止講座は、上限５回でできる範囲で行う。 ・引く続き協力店の開拓を行い、店に対して事業の意義を伝え理解を求めたい。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

2）	未成年者に対する飲酒防止の取り組み（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課

③	学校保健関係指導	・学習指導要領解説に基づく学習指導	**学校保健課**

27年度計画	・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。 引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。
実績と評価	・各学校における保健学習（体育科・保健体育科）のなかで、学習指導要領に基づいた喫煙や飲酒、薬物乱用防止についての正しい知識とそれによる正しい判断の大切さを学んだ。 ・小学校における薬物乱用防止教室を実施（発展学習）した。（薬物乱用防止キャラバンカーの派遣実績：市内18小学校） ・中学校における薬物乱用防止教室を実施（発展学習）した。（外部講師による薬物乱用防止に係る講演会：市内13中学校）
28年度計画	・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。

3）	妊娠、授乳期の飲酒をなくす取り組み（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
④	周産期支援事業	・母子健康手帳交付時の保健指導 ・妊娠期から子育て期の各種教室の実施	**こども健康課**

27年度計画	継続実施 妊婦さんのための栄養教室（プレママ･プレパパのための栄養教室）や、妊婦さんのための料理教室（楽しいマタニティクッキング）の中で啓発していく。
実績と評価	妊婦さんと配偶者を対象とした教室の中で、飲酒が胎児、母体、母乳等に及ぼす影響について説明し啓発を行った。
28年度計画	平成27年度と同様、妊婦さんのための栄養教室（プレママ･プレパパのための栄養教室）や、妊婦さんのための料理教室（楽しいマタニティクッキング）の中で啓発を行っていきたい。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

取り組みの分野:歯・口腔の健康

1） 2） 3） 4） 5）	歯科健診受診者を増やす取り組み（●） 歯科疾患が全身疾患に関連することの周知（●） 各自の歯の状態にあったブラッシングの普及啓発（●） 咀嚼の大切さの啓発（●■） ３歳でう蝕のない児を増やす取り組み（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ② ④ ⑤ ⑥	歯科保健事業	・１歳６カ月児、３歳児健康診査時や学校歯科巡回教室、地域等からの依頼による健康づくり教室の際、保護者等への歯科健診受診についての普及啓発 ・成人健康教室の実施 ・学校歯科巡回教室の実施 ・妊娠期に実施する教室 ・歯科健康診査の実施 ・各種相談会等相談事業の実施 ・ライフステージにあわせた歯科指導・各種健康教室の実施 ・１歳６カ月児、２歳６カ月児の歯科健康診査	**保健所** **健康づくり課**

27年度計画	・引き続き、各事業を実施。 ・生涯にわたって自分の歯でおいしく食べられるよう、ライフステージに応じたフッ化物の利用を推奨する 1)30歳の健診対象者に対し、受診券のはがきにあわせてセルフチェックの出来るアンケートを同封すること、成人健康診査受診者に対し「歯の健康力アンケート」（生活歯援プログラム）を送付すること、2点で歯科健診未受診者への気づき支援・動機づけをする。 4)ライフステージにあわせた健康教室で咀嚼の大切さについて積極的に啓発する。
実績と評価	・歯と口の健康週間イベントにおいて、フッ化物配合歯磨き剤の利用について普及啓発した(800人) 1)26年度に歯の健康力アンケートを希望し、歯科健診未受診だった者のうち6%が27年度に歯科健診を受診した。30歳の健診対象者に対し、歯科健診に対する関心を引き出すようセルフチェックアンケートを同封したが、受診率の向上には結びつかなかった。 4)咀嚼の大切さについての健康教室で積極的に啓発した。(幼保：3,800人、5年生：3,300人、生涯現役講座：200人)
28年度計画	・引き続き、各事業を実施。 ・生涯にわたって自分の歯でおいしく食べられるよう、ライフステージに応じたフッ化物の利用を推奨する 1)成人健康診査受診者に対し「歯の健康力アンケート」（生活歯援プログラム）を送付することで歯科健診未受診者への気づき支援・動機づけをする。 2)ライフステージにあわせた健康教室や保健所健診センターで実施している成人歯科健康診査で歯科疾患が全身疾患に関連することを積極的に周知する。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

2）	歯科疾患が全身疾患に関連することの周知（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
③	基礎身体能力向上事業 介護予防普及啓発事業	・介護予防に関する知識の普及と教室の実施	**高齢福祉課**
27年度計画	（基礎）お口元気!教室　13コース×2日　　定員15人 （普及）小食の方のための栄養教室（歯科担当分）　４コース×１日　定員２０人 （普及）のみこみらくらく教室（歯科担当分）　３コース×１日　定員１５人 （普及）生涯現役フォーラム内　口腔機能キャンペーン 500人 （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）6コミセン×1回		
実績と評価	（基礎）お口元気!教室　13コース×２日　　実)127人　　延)162人 （普及）小食の方のための栄養教室（歯科担当分）　４コース×１日　実）34人　延）34人 （普及）のみこみらくらく教室（歯科担当分）　２コース×１日　実）11人　延)11人 （普及）生涯現役フォーラム内　口腔機能キャンペーン　500人 （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）６回　実）179人　延）179人 自分の歯でおいしく食べられるよう、口腔単独の教室開催から栄養との複合教室での実施としました。 また、広く普及啓発を図るため、生涯現役フォーラム内で口腔機能キャンペーンを実施しました。		
28年度計画	（普及）のみこみらくらく教室（歯科担当分）　３コース×１日　定員１５人 （普及）生涯現役フォーラム内　口腔機能キャンペーン 500人 （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）９コミセン×1回		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画